基本理念　**地域の中核病院として質の高い医療を提供します。**

ごあいさつ

～地域住民の暮らしと絆（きずな）を支え続け地域に寄り添う医療の実現へ～

阿南病院は、下伊那南部唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、患者さま中心の優しさと思いやりのある医療の提供を目指しており、また、へき地医療拠点病院として無医地区への巡回診療、診療所への医師派遣などを行っております。

当院の診療圏である下伊那南部地域は、老年人口割合が40％を超え、県下2番目の高齢化先進地域となっています。このような状況下で当院は、高齢者医療・小児医療を中心に地域医療を推進しており、在宅医療・精神医療や老人保健施設運営などにも力を入れています。さらに「地域医療総合支援センター」を設置し、検診活動・認知症対応またへき地医療に携わる医療技術者の育成にも力を注いでおります。

本館棟は、耐震化改築工事により、免震構造でヘリポート付の災害においても医療機能を継続できる病院となり、より一層「信頼され、安心して暮らせる医療」を推進してまいります。

また、医療・介護関係者の情報共有化について、阿南町が導入したエイルシステムを協働で再構築し、町内の医療介護関係者と情報共有化が図られ、在宅患者の『住み慣れた地域で暮らしたい』という願いを叶えるためにこのシステムの活用を進めており、地域包括ケアシステムの構築へ一歩前進したと考えております。

院長　田中雅人

阿南病院のあゆみ

S 20.6	千葉医科大学付属医学部専門部が旧大下條村及び下條村へ戦時疎開
S 21.3	日本医療団阿南病院として地元熊谷医院（南宮医院）の建物を借りて診療開始
S 21.9	下伊那阿南ブロック9ヵ村病院組合が結合され、阿南9ヵ村の組合立病院となる
S 23.6	長野県立へ移管
S 43.3	現病院全面改築工事完成
S 60.3	新館完成使用開始
S 61.3	病院全面改築工事完成
H　6.5	阿南介護老人保健施設「アイライフあなん」開所
H 18.4	地域連携室開設
H 22.4	地方独立行政法人　長野県立病院機構へ移管
H 25.5	新本館棟オープン
H 25.9	電子カルテシステム稼動
H 26.3	耐震化改築工事全面竣工

昭和21年　開設当時

昭和23年　県立移管当時

昭和40年代　巡回診療

平成23年　旧本館棟前にて

中核病院としての役割

高齢者の多い当地地域において、地域住民の暮らしと絆を支え人に寄り添う医療の実現を目指しています。

◆病　　棟　病床数　一般病床85床（3階病棟42床、4階病棟43床）
◆診療科目　内科、外科、小児科、整形外科、（皮膚科）、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科
◆人工透析　10床（運用）
◆各種指定　救急告示病院、へき地医療拠点病院

外来

病棟

人工透析

基本理念　**患者さんの人権を尊重し、明るくやさしさと思いやりのある医療を提供します。**

巡回診療

下伊那南部の無医地区解消のため、昭和36年より巡回診療を行っています。隔週（阿南町和合の日吉・鈴が沢地区）

救急医療

屋上にヘリポートを設置し救急医療に対応しています。また、24時間体制で地域の皆さまの医療を守ります。

訪問リハビリ

通院の困難な山間部で生活する高齢者のニーズに応えるため、訪問リハビリを行っています。

訪問診療・訪問看護

在宅での医療や看護等を必要とする患者さまのお宅に医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などのスタッフが伺い、診療等にあたっています。

その他の主な取り組み

中学生を対象としたBLS講習会

救急車が到着するまで時間のかかる山間へき地では、中学生も命を守る担い手にと、当機構本部研修センター及び阿南消防署と連携して、中学生を対象としたBLS講習会を開催しています。（H26～）

医療講演会

講演会を開催し、地域の皆さまに医療に関する情報発信を行っています。

施設診療

管内の特別養護老人ホーム（5施設）救護施設（1施設）知的障害者入所施設（1施設）に対して、診療を受け持っています。平成27年度からは、当院の電子カルテシステムにインターネット回線を利用してアクセスし、画像データ閲覧や処方入力も可能となっています。

基本理念　**地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと、地域に根ざした医療を提供します。**

地域医療総合支援センター

認知症なんでも相談室

認知症なんでも相談室では、認知症を地域で支える取り組みとして、「相談業務」「院内デイサービス」「認知症カフェ」などを行い、高齢者が地域で安心して暮らせる手助けをしています。（認知症なんでも相談室 H26.4月～）

職員認知症サポーター研修

高齢者の患者さんが多い当院では、職員が認知症を正しく理解し、高齢者にやさしい病院・地域づくりのためにサポーター研修を行っています。（H28.6月～）

院内デイサービス

認知症を併発している入院患者を中心に、院内デイサービスを行い、楽しく入院生活を送れるようお手伝いをしています。（H27.6月～）

認知症カフェ　『かふぇ なごみ』

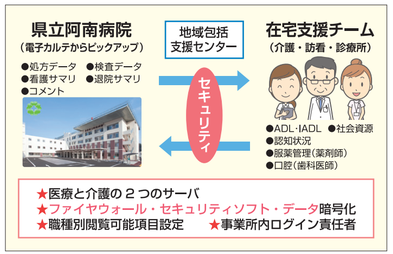
様々な方が集い安心して過ごせる場所として認知症カフェを開設しています。いろいろな活動をして楽しんだり、一杯のコーヒーを飲みながら地域の方々と交流し、参加者みんなでその時を作っています。（H28.5月～）

健康管理センター

町村や事業所の健・検診事業を受託し、地域住民の健康管理を行っています。人間ドックや各種健診の他、乳児健診なども行っています。

阿南町地域医療介護連携支援システムについて

阿南町が導入したエイルシステムを協働で再構築し当院電子カルテシステムとの接続を進め、阿南病院を中核とした在宅患者等の要支援者見守り情報との統合をモデル的に構築し、在宅患者の『住み慣れた地域で暮らしたい』という願いを叶えるため、活用を進めています。

【関係事業者】
阿南病院（後方支援病院）、阿南町地域包括支援センター、町内診療所などの医療機関、訪問看護ステーションさくら、介護事業者、ＪＡ阿南歯科診療所、飯田薬剤師会、阿南学園、富草寮など

【対象者】
当システムを活用したい阿南町内の住民（在宅要支援者など）及びその連携者